

【 診療科:消化器外科 】  
 【 レジメン登録番号:SG-118 】

### 〈 XELOX+Nivolumab療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)														
			1	2	3	4	5	6	7	8	.....	15	....	21			
オブジーボ	360mg/body	div	○														
オキサリプラチン	130mg/m <sup>2</sup>	div	○														
ゼローダ	BSA<1.36m <sup>2</sup> 2400mg/日 1.36≤BSA<1.66m <sup>2</sup> 3000mg/日 1.66≤BSA<1.96m <sup>2</sup> 3600mg/日 1.96m <sup>2</sup> ≤BSA 4200mg/日	p.o.	夕							←継続投与→						朝	

【1コース期間: 21 日】

【総コース数: 制限無し】

【適応癌種: 胃癌・食道腺癌】

【時期: 術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

#### 投与プロトコール

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	オブジーボ 360mg/body	div(30分で)
	生理食塩水 100mL <sup>※</sup>	
Rp.2	生理食塩水 50mL	div
Rp.3	5-HT <sub>3</sub> R Blocker 1A	div(全開で)
	デキサート 9.9mg	
	生理食塩水 100mL	
Rp.4	オキサリプラチン 130mg/m <sup>2</sup>	div(2時間で)
	5%ブドウ糖液 250mL	
Rp.5	5%ブドウ糖液 50mL	div(全開で)

※初回30分、2回目以降は全開でも可。

【参考文献: Lancet2021; 398: 27-40、Annals of Oncology 30:250-258,2019、オブジーボ点滴静注 添付文書 第10版】

【備考:①ゼローダ投与は分2、day1夕食後～day15朝食後】

【備考:②※:投与時の総液量は体重30kg 以上の患者には150mL 以下、体重30kg 未満の患者には100mL 以下とする。】